

学会 掲示板!



国内

1990

1. 30—31

日本岩石鉱物鉱床学会, 1989年度総会および講演会,
仙台市戦災復興記念館

1. 31—2. 2

日本鉱山地質学会, 第40回総会および年会, 新橋住友
ビル (東京)

4. 3—4

日本地質学会, 総会およびシンポジウム, 横浜国立大
学 (学術講演会は10月に富山大学で)

4. 6—8

地震学会・地球電磁気地球惑星圏学会・日本火山学
会・日本測地学会・日本地球化学会・合同春季大会,
東京工業大学 (大岡山)

8. 21—25

1990 Western Pacific Geophysics Meeting.

AGU および国内関連学会共催, 金沢 (会場は市内公
共施設), 問い合わせ先: 〒152 目黒区大岡山2-12-1
東京工業大学理学部応用物理学教室 本蔵義守助教授
Tel. 03—726—1111, ext. 2341, アブストラクト締切
: 1990年2月14日

9. 28—10. 2

Benthic Foraminifera (第4回底生有孔虫国際シン
ポジウム), 仙台市 問合せ先: 仙台市荒巻青葉
東北大学理学部地質学古生物学教室 高柳洋吉教授,
Tel. 022—222—1800, ext. 3419

10. 6—7

日本地質学会, 第97年学術大会, 富山大学

10. 8—12

The 6th International Symposium on Biominerali-
zation. 小田原市アジアセンター, 問い合わせ先:
〒102 千代田区富士見1—9—20 日本歯科大学歯学部
病理学教室 須賀昭一 Tel. 03—261—8311

10. 29—11. 2

1990年1月号

ISME-AI '90(International Symposium on Minera
Exploration:-The Use of Artificial Intelligence,
1990) (鉱床探査のための人工知能国際会議), 東京大
学山上会館・工業技術院筑波共用講堂, 問い合わせ先
: 〒107 港区赤坂9—6—41 乃木坂ビル 資源・素材
学会 Tel. 03—402—0541

1992

8. 24—9. 3

29th International Geological Congress (第29回万
国地質学会議), 国立京都国際会館, 問い合わせ先:
〒305 筑波学園郵便局私書箱65 第29回IGC事務局,
Tel. 0298—54—3627, Fax. 0298—54—3629

海外

1990

4. 18—20

OROGENESIS: TECTONICS IN WEST EQUATORIAL PACIFIC
MARGIN (Mtg.), London. (R. Hall, Dept. Geol. Sci.,
University College London, Gower St., London,
WC1E 6BT)

5. 6—12

PACIFIC RIM (Congress), Australia. (Aus IMM-
PACRIM 90, Box 731, Toowong, Queensland 4066,
Australia).

5. 16—18

GEOLOGICAL ASSOCIATION OF CANADA/MINERALOGICAL
ASSOCIATION OF CANADA (Ann. Mtg.), Vancouver,
B. C., Canada, (R. I. Thompson, 801-750 Jervis St.,
Vancouver, B. C., V6E 2A9).

5. 20—22

PACROFI III (3rd Pan-American Conference on Re-
search on Fluid Inclusions), University of Tronto,
Canada, (E. Spooner, PACROFI III, Department of
Geology, University of Tronto, 22 Russell Street,
Tronto, Ontario, Canada M5S 3B1).

5. 29—6. 1

AMERICAN GEOPHYSICAL UNION(Mtg.), Baltimore
Md. (AGU 2000 Florida Ave. N. W., Washington,
D. C. 20009).

6. 3—6

AMERICAN ASSOCIATION OF PETROLEUM GEOLOGISTS
(Ann. Mtg.), San Francisco, U. S. A. (AAPG,
P. O. Box 979, Tulsa, Okla., 74101).

6. 28—7. 3

INTERNATIONAL MINERALOGICAL ASSOCIATION (15th

General Assembly), Beijing, China. (Prof. Huang Yunhui, c/o Institute of Mineral Deposits, Chinese Academy of Geological Sciences, Baiwan-zhang Road 26, Fuchengmenwai, Beijing, P. R. China)

7. 29— 8. 3

CIRCUM-PACIFIC ENERGY AND MINERALS RESOURCES (Conf.), Honolulu, Hawaii. (M. Stewart, Circum-Pacific Council on Energy and Mineral Resources, 5100 Westheimer Road, Houston, TX 77056, U. S. A.).

8. 12—18

INTERNATIONAL ASSOCIATION ON THE GENESIS OF ORE DEPOSITS (8th Symp.), Ottawa, Canada. (Dr. R. W. Boyle, 601 Booth Street, Ottawa, Canada K1A 0E8).

8. 27— 9. 1

INTERNATIONAL ASSOCIATION of HYDROGEOLOGISTS (Mtg.), Lausanne, Switzerland. (Aurèle Parriaux, Laboratory of Geology École Polytechnique Fédérale, 105, Lausanne).

9. 4— 7

DEEP-SEISMIC REFLECTION PROFILING (Mtg.), Bayreuth, West Germany. (C. Reichert, DEKORP Pro-

ject Management, NLfb, Postfach 510153, D-3000 Hannover 51, F. R. G.).

9. 24—29

GEOCHRONOLOGY, COSMOCHRONOLOGY & ISOTOPE GEOLOGY (Mtg.), Canberra, Australia. (Organizing Committee, Research School of Earth Sciences, Australian National University, P. O. Box 4, Canberra, ACT 2601).

10. 29—11. 1

GEOLOGICAL SOCIETY OF AMERICA (Ann. Mtg.), Dallas U. S. A. (V. George, GSA, P. O. Box 9140, Boulder Colo., 80301).

————— 1991 —————

8. 11—24

IUGG (26th General Assembly), Vienna, Austria (F. Wiederstein, BM für Land. und Forstwirtschaft, Hydrographisches Zentralbüro, Marxergasse 2, A-1030 Vienna, Austria).

IASPEI(26th General Assembly), Vienna, Austria. To be held in conjunction with IUGG. (R. D. Adams, International Seismological Centre, Pipers Lane, Thatcham, Newbury, Berks. RG13 4NS, England, U. K.).

読者の欄

ニュージーランドからの手紙*

地質ニュースを毎号拝見しておりますが、愛読者として、二、三、気のついたことを述べさせていただきます。御参考になれば幸いです。

私はかつては地質調査所（以下GSと略称）の他の出版物にも目を通しておりましたが、内容に特殊なものも多く、私の興味と必ずしもマッチしないので、このごろはあまり見なくなりました（もちろんこういったからといって、それは他の出版物の種類や内容を批判しているわけでは全くありません）。一方地質ニュースは、内容が専門外の人にも分るように書かれているだけでなく、写真も多く、また学術誌に論文としてはのせ難い内容の記事（たとえば調査旅行記とか学会参加記など）も多くバラエティに富んでいて、楽しく読むことができます。官庁出版物が一般に無味乾燥と考えられている中で、出色のものだと私は常に感じています。世界の他のGSの中で地質ニュースのような出版物を出しているところはないと思います。その意味で大変ユニークなものであることは大いに誇ってよいことでしょう。

最近GSとして編集委員会が確立されたよう編集委員の氏名も載るようになりましたが、今後一層の紙面改

善を期待しております。希望を言わせて頂くと、私としては目次の英訳がどこかに欲しいと思っています。また多分GSは日本で一番、世界中の地質関係出版物（教科書を含む）を多数持っていると思いますが、その中の比較的重要なものの書評や紹介があればありがたいと思います。USGSから毎月多数出る出版物の中の面白いものの紹介、その他国内国外の主要学会誌の論文の中の面白い研究の抄録、なども考えられます。GSの研究者は数も多く専門分野も多岐にわたっていますが、広い地球科学関係の学問の進歩についての適切なレビューがあればほんとうにありがたいと思います。そのためには原稿待ちでなく、ニュースという誌名にふさわしい積極的取材活動を編集部に期待しております。印刷部数がどの位なのかは知りませんが、GSの出版物の中で一番読まれていることは間違いなくと信じられますので、それにふさわしい配慮と認識を出版主体であるGSに期待しております。

河内洋佑（ニュージーランド・オタゴ大学）
Geology Department, Univ. Otago, Box 56,
Dunedin, New Zealand

* タイトルは編集委員会でつけさせていただきました。